



志岐高便り

第161号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

「人学ばざれば智なし」

教頭 野村雄大



「“天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず”と言う。天が人を生まれさせるのは、万人は万人みな同じ地位であって、生まれながらの貴賤や上下の差別なく、万物の霊長である心身の働きで、天地の間にあるすべての物を利用して衣食住の用を足し、自由自在、互いに人の妨害をせず、おのおの安楽にこの世を渡らせたまう趣旨である。しかし今、広く人間世界を見渡せば、賢い人もあり、愚かな人もあり、貧しい人もあり、富める人もあり、貴人もあり、下人もあって、そのありさまに雲泥の相違があるのはなぜか。そのわけは、全く明らかである。『実語教』という書物に、“人学ばざれば智なし、智なき者は愚人なり”とある。つまり賢人と愚人の区別は、学ぶと学ばないことによってできるのである。」

福沢諭吉著『学問のススメ』の冒頭の一節（現代語訳）である。初編は1872年に発表されており、今から約150年前のことである。この明治維新の頃のことばは、現代の私たちにもグサリと響いてくるのではないだろうか。

明治維新は、日本人の価値観をガラリと変えた革命的出来事でした。江戸幕府から明治政府へ、幕藩体制から中央集権体制へ、ちゃんまげからざん切り頭へ等々、日本人が目に見える形で変革の波を大きく感じ取った時代ではなかったのでしょうか。一方、現代も、地球規模で大きく価値観が転換している時期だと叫ばれています。しかしそれは、目に見える形で迫ってきているのではなく、ジワリと私たちの身の回りに染みてきているようです。意識しない間に、あるいは気付かないうちに、そうになっていた、という経験はないのでしょうか。AIや電子マネーなどの浸透はその典型かもしれません。こうした変革の波の中でしっかりと足を踏ん張って前へ進むためにも、賢くなる必要があります。賢くなるためには、「智」が必要。それを得ることができるかできないかは、「学ぶと学ばないことによってできるのである」。今一度、福沢諭吉の説く一節に立ち戻る必要があるようです。

マイン河畔が生んだ文豪ゲーテは、「有能な人は、常に学ぶ人である」と指摘しました。彼が生きた時代もまた、フランス革命やナポレオンによってヨーロッパに激震が走った変革の時代でした。そして彼は次のようにも指摘しています、「人は努力している間は、迷うものだ」。学ぶ努力をし続ける限り、悩んだり迷ったりするのは当然のことです。大切なことは、悩んだり迷っても立ち止まらないことです。一步ずつ、前へ進むことです。

マイン河畔にあらねども、喜応台上で学ぶ志岐高生諸君。努力は君たちの中にこそあります。平成と新元号の変わり目の年に、自らの人生のために大いに学び、智を得よう！

各学年団から

第 2 学 年 よ り

さて、3年生0学期も終わりを告げ、4月から本当の3年生となります。71回生との別れもありましたが、次は74回生が入学してきます。日々、月日は流れ、あっという間に君たち72回生も吉崎高校を巣立っていくことでしょう。しかし、その君たちの進むべき進路はいつどこになるのでしょうか？これからの高校生活残り1年間で、君たちが成すべきことは何か？どう成長していくのか？この1年の様々な場面で、反省や課題もあったと思いますが、それを改善し、将来の夢や目標に向かって、『可能性=∞』のスローガンのもと、全力で邁進して下さい。

保護者の皆様におかれましては、日頃より2学年の教育活動についてご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございました。特に、修学旅行という大きな行事も無事に終えることができました。次年度は、生徒の将来を左右する大事な1年間となりますので、今年度よりも多忙になることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

第 1 学 年 よ り

今年度も残りわずかとなりました。73回生の生徒諸君は、学習や部活動、学校行事など多くの経験を通して、仲間と切磋琢磨しながら大きく成長してくれました。

4月からいよいよ73回生は吉崎高校の中堅学年となり、学校全体をリードしていく立場になります。学習面においては、内容が難しくなり、理科・地歴の学習も入り、学習量も増えます。部活動においても部の中心となり、2年生が引っ張っていかなくてはなりません。学校行事においても文化祭や体育祭で学校の中心として動く機会が増えます。大変なことに感じますが、逆を言えば活躍の場が多くなり、成長のチャンスがたくさんあるということです。ぜひ、さまざまなことに挑戦し、さらなる成長につなげてほしいと思います。

最後に、保護者の皆様におかれましては、日頃より1学年の教育活動についてご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願い致します。

日高正勝	数学 3-4副担任 ヒューマンハート部 ご退職・本校再任用	横山有	数学 2-2副担任 ソフトボール部 吉崎商業高校へ	坂井泉子	音楽 1-5副担任 吹奏楽部 大村高校へ
皆良田憲明	体育 3-2副担任 野球部 長崎南高校へ	神寄雅史	日本史 2-1副担任 剣道部 島原高校へ	兵頭美帆	英語 2-3副担任 ヒューマンハート部 長崎大学大学院へ
鳥居正洋	日本史 3-6担任 郷土研究部 長崎東高校へ	本村晋一郎	英語 3-3副担任 ソフトテニス部 長崎西高校へ	中山香澄	国語 3-3担任 書道部 諫早高附属中へ
山崎銀河	世界史・現代社会 1-5副担任 男子バレ一部 清峰高校へ	胡志强	中国語 3-6副担任 上海外国語大学へ	目良恵子	実習助手 2-6副担任 ソフトテニス部 吉崎商業高校へ
小森雄志	事務 県教委へ	 <p>今年度離退任される先生方 ありがとうございました</p>		 <p>先生 ありがとう</p>	

壱岐高Topics!

「校内百人一首大会」

3月19日（火）、校内百人一首大会を開催しました。一生懸命覚えた和歌を誰よりも早く取ろうとみなさん真剣な眼差しで取り組んでいました。特に「ちはやふる…」の和歌は、漫画や映画の影響からか、詠まれた瞬間から全員が札を取りにいき、会場が沸き上がりました。普段あまり関わりのない学年や虹の原の生徒とも、日本の文化を通じて交流を深めることができました。



「校内球技大会」

3月20日（水）校内球技大会が行われました。3年生が卒業し、1・2年生のみの大会でしたが、活気あふれるプレーで学校全体が盛り上がりました。



4月行事予定 ①1年 ②2年 ③3年

1	月	
2	火	入学予定者OR 部活動紹介
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	クラス発表 始業式 大掃除 入学式 学年PTA① 入市式 前期学級自治委員選出（～10）
9	火	面談 課題テスト①②③ 容儀指導 離島留学生集会
10	水	面談 課テスト③ 第1回コース交流会 校内研修①
11	木	面談 胸部レントゲン① 校内研修①
12	金	面談 前期学級自治委員任命式 写真撮影① 校内研修①
13	土	スタサポ① 学校開放（終日） 第1回公務員・就職模試（実教）③
14	日	
15	月	面談 部活動入部集会 写真撮影①
16	火	心電図① 尿検査
17	水	身体測定・スポーツテスト①
18	木	各種専門委員会
19	金	文化祭実行委員会 公募締切
20	土	学校開放（終日）
21	日	
22	月	内科検診②
23	火	電子辞書活用説明会
24	水	尿検査 内科検診②
25	木	考査時間割発表
26	金	歓迎遠足 文化祭実行委員会
27	土	両校戦（～5/5）
28	日	
29	月	【昭和の日】
30	火	

各分掌から

生徒指導部より

本年度も「愛される吉崎高 応援される吉崎高」をスローガンに掲げ、生徒の自主・自律を目指し指導にあたってきました。本年度は女子黒タイツの利用（試行期間）を新たに認めました。変えるためには、エネルギーが必要です。そして、根拠が必要です。様々なことに関心を持ち、現状に満足することなく、新しい道を切り拓く吉崎高生であってほしいと思います。次年度以降も、吉崎高教職員一丸となって、生徒一人一人が魅力あふれる人物へと成長できるよう、また落ち着いた学校生活を送れるよう、より良い環境作りに取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

- 「一年間を振り返ってみましょう」
- 乗り降り禁止区間の遵守
 - SNSによるトラブルの防止
（スマートフォンの使用方法について、家庭内のルールは守れていたか等）
 - 立ち止まり挨拶の徹底

生徒会・美化部より

「吉州祭」

2月23日～3月10日、吉崎国博物館で吉州祭が行われ、本校の文化部が展示やステージ発表を行いました。

3月3日には、多目的ホール・屋上庭園にて本校の文化部が参加したイベントが開催され、会場はたくさんの人でにぎわいました。



進路指導部より

いつにも増して暖かく穏やかなこの3月、吉崎高校に110周年の春が訪れたようです。71回生は全員が無事に卒業し、72回生は記念の年に最高学年となります。現行入

試制度の最終年度であり、吉崎高自体も変革途上というこの過渡期に、学校を率いる72回生。この学年の生徒たちに対し、話をする機会を先日いただきました。私が強調したのは「早く準備を始めよう」ということです。この数年間で私が感じていたことは、「もっとスタートが早ければなあ」ということ。生徒のスタートが遅く、入試や就職試験の日の1～2週間後に実力のピークが来ている気がしてならないのです。入試や就職試験にフライングはありません。しかし時間切れはあります。生徒たちも、そして保護者の皆様も、ゴールを見据えて早くスタートが切れるよう、進路意識を高め、4月を迎えていただきたく思います。

73回生は「全力」で1年間を終えることができたでしょうか。新入試制度1年目の学年であり、周年行事を終え、吉崎高校が111回目の歩みを始める年の大事な生徒たちです。中堅学年としての活躍を期待します。

いつの時代も、世間は危機感を煽っています。しかし私たち人間はその時代に即した策を考え、講じ、生き永らえてきました。どのような世の中のおいても、勉強熱心で他者と協働でき、創意工夫にあふれる者には仕事があります。

来る2019年度、吉崎高生がそのようになげがえのない人財になること意識し、早くから行動に出ることを心から願っています。

東アジア歴史・中国語 コース

2月28日（木）最後のコース交流会が行われました。3年生との最後の交流の会であり、1・2年生は名残を惜しみながら、3年生との時間を過ごしました。

71回生のコースのみなさん、第2のふるさとである吉崎は、いつもあたたかくみなさんを見守っています。新しい大地で輝くことを、心から祈っています。

